

エジプト文明の起源を探る

ヒエラコンポリス遺跡における近年の発掘調査

2018年10月13日(土)・14日(日)

早稲田大学 14号館B101室

10月13日 基調講演

15:00 開場

15:30-17:35 レネ・フリードマン(ヒエラコンポリス遺跡調査隊長)
ファラオの起源を求めて:支配者墓を発掘する

17:35-18:00 質疑応答



10月14日 シンポジウム

12:30 開場

13:00-13:10 開会挨拶

13:10-13:50 馬場匡浩(早稲田大学)
支配者が愛したビールの醸造

13:50-15:10 ウィム・ヴァン・ニール(ベルギー王立自然史博物館)
支配者に捧げられた動物たち

15:10-15:20 休憩

15:20-16:00 長屋憲慶(福井県年縞博物館)
支配者に捧げるモノづくり

16:00-17:20 リアム・マクナマラ(オックスフォード大学)
ファラオとなった支配者

17:20-17:50 質疑応答

17:50-18:00 閉会挨拶



参加費無料 事前申込不要
使用言語:日本語・英語(通訳あり)

ヒエラコンポリス遺跡は、エジプト文明形成期(前4000年紀)で最大の都市遺跡の一つです。ここでは近年、ファラオに通ずる支配者の出現を示す様々な発見が相次いでいます。シンポジウムでは、ヒエラコンポリス調査メンバーが早稲田に集い、最新の発掘成果をレポートいたします。

主催:早稲田大学高等研究所

共催:早稲田大学総合研究機構エジプト学研究所・オックスフォード大学アシュモレアン博物館

連絡先:wias-info@list.waseda.jp
(早稲田大学高等研究所事務所)

WIAS

INSTITUTE OF EGYPTOLOGY
WASEDA UNIVERSITY, TOKYO, JAPAN

ASHMOLEAN
MUSEUM OF ART AND ARCHAEOLOGY UNIVERSITY OF OXFORD